

# 防災講演会 女性にとって、 今こそ知っておくべき防災術

～あなた自身と家族、本当に守れますか？子ども・高齢者・  
女性が直面する災害時の困難とその対策～

日時：10月9日（金） 午前10時～正午

場所：立川市女性総合センター(アイム)5階第3学習室(地図裏面)

講師：浅野 幸子氏（裏面にプロフィールがあります。）

参加費：¥200

定員：50名 男性の参加もお待ちしています。

\*保育 5人程度（要予約、1歳～学齢前、男女平等参画課へ）

震災直後は多くの避難所が女性への配慮に欠けていたといわれます。“間仕切りがなく着替えや授乳に困った”、“下着を干す場所がない”、“人前で生理用品を受け取りにくい”など、女性ならではの悩みがありました。しかし、避難所運営リーダーは男性が多かったこともあり、女性たちは希望を言い出せず我慢していたのです。甚大な被害を受けた被災地では、まずは生きぬくことが最重要。でも、そんな非常時でもできる配慮があるはず。女性や育児・介護に配慮した避難所運営や支援のあり方などを探ります。

これらの問題を解決するための鍵となるのが「女性の視点も入れた防災施策の確立」。今、国も積極的に進めています。

首都直下地震などの切迫性が叫ばれる昨今、立川市域においては過去の悲劇を二度と繰り返さないよう、女性・男性がともに知恵と力を発揮する形で、防災対策に取り組むことの重要性を学びます。



☆申込み先：男女平等参画課 ☎042(528)6801  
9月10日より受付を開始します。

企画・運営 立川市災害ボランティアネット

主催 立川市男女平等参画課



協力 立川市社会福祉協議会

## 講師：浅野幸子氏プロフィール

減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表、大学非常勤講師、早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員

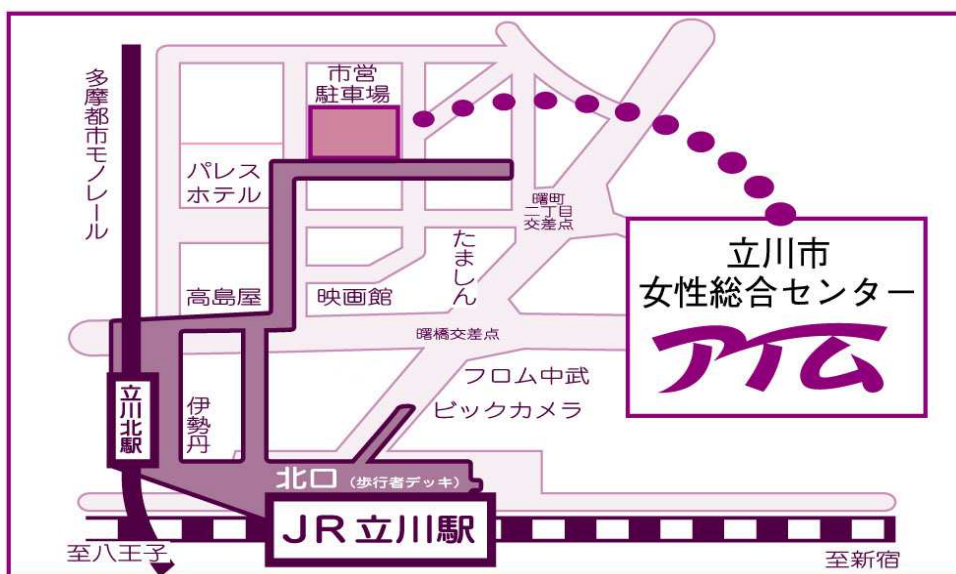
阪神・淡路大震災で、国際協力NGO（現シャンティ国際ボランティア会）の現地スタッフなどとして在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興支援などに4年間従事。その後、東京都生活協同組合連合会、全国地域婦人団体連絡協議会で働きながら大学院に進学（政策科学修士）。2011年5月、東日本大震災女性支援ネットワークの立ち上げに参画し、現在に至る。

著作に『あなた自身と家族、本当に守れますか 女性×男性の視点で総合防災カアップ』（2011年（財）日本防火協会）など。

## 立川市災害ボランティアネットとは？

立川市社会福祉協議会の呼びかけに応え、2009年5月に準備会を立ち上げ、2011年4月、東日本大震災を契機に、切迫する首都直下地震（多摩直下地震、立川断層帯地震）に備える緊急性を学び、市民有志により正式設立された団体です。市民防災力向上の啓発活動を目的として、立川社協、立川市防災課、協働推進課、男女平等参画課と連携させていただいています。

現在、自治会、マンション管理組合、企業、市民団体、小・中・高校などへの出前講座に取り組むとともに、地域で活動する人材育成を目指し、災害ボランティアリーダー養成講座に取り組んでいます。第V期生募集を平成28年3月に開始する予定です。



立川駅北口より歩行者デッキで徒歩7分

駐車場はありません。ご来館の際は、公共交通機関をご利用下さい。